

## 令和5年度国有林モニター現地見学会の開催報告

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けています。

東北森林管理局では、令和4年4月から2年間の任期として管内5県にお住まいの47名の方に国有林モニターにご就任いただき、国有林野事業について理解を深めていただいた上でご意見・ご提案をいただいています。

こうした取組の一環として、令和5年10月20日（金曜日）、宮城北部森林管理署管内の東松島市と石巻市において、令和5年度国有林モニター現地見学会を開催し、22名の方にご参加いただきました。

### 1. 海岸防災林の復旧

東北森林管理局では、東日本大震災で被害を受けた海岸防災林の復旧を進めており、海岸防災林（東松島市）へ向かうバス車内にて、宮城北部森林管理署の概要と海岸防災林の復旧事業について説明しました。

海岸防災林の事業現地では、クロマツの生長の様子から防災林の復旧状況を確認いただくとともに、ディブルという器具を使用したクロマツコンテナ苗の植栽体験をしていただきました。

今回の見学会にて植栽したクロマツ苗は、今後、宮城北部森林管理署が保育・管理し、潮害や飛砂・風害等から農地や居住地を守る海岸防災林として生長していきます。



海岸防災林での  
クロマツコンテナ苗の植栽体験

### 2. プレカット工場の見学

株式会社山大（石巻市）にて、プレカット材の加工工程を見学しました。

プレカット材とは、住宅を現場で建築しやすいよう、柱等の継手といった接合部分等を事前に（プレ）一定の形状に切断等（カット）したもので、その利用率は上昇を続け、令和3年には木造軸組構法において94%に達しました。現在の木造住宅建築において、プレカット材の使用なしでの建築は不可能に近い状況です。

見学会では、森林から供給された木材が建築現場で使用するプレカット材に加工される複雑な過程を見学したほか、使用目的別にどのような加工を施されているか等について詳細をご説明いただきました。



株式会社山大での見学の様子